

診療科目：神経内科

カテゴリー：必修科目、選択科目

一般目標：神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋、自律神経などに関連する疾患を全身的・総合的に診療を行なう科である。神経系を主に侵す疾患のみならず、さまざまな全身疾患や他科疾患もその対象に含まれる。内科的・神経学的診察を通じて、患者さんを全身くまなく診察し、評価したうえでの確な部位・機能・原因診断を下し、診療を行なう過程を研修・実践する。この一連の過程を通して、患者さんが有する様々な問題と向き合い、論理的解決をはかる医師の養成を目指す。

#### 【個別目標】

指導医のもとに外来・入院患者・救急患者を担当することで

- ・神経学的診察手技を身につけ、得られた所見からの局在診断法を習得する。
- ・意識障害、脳卒中急性期、てんかん発作など、神経疾患救急患者の初期対応と初期治療を理解習得する。
- ・神経疾患診断に必須である検査（脳脊髄液検査、神経筋生検、神経伝導検査、針筋電図、脳波、CT、MRI、核医学検査、超音波検査など）を理解習得する。
- ・脳梗塞の病型分類やその病態を理解し、適切な治療方針を理解習得する。
- ・感染症（脳炎、髄膜炎など）の適切な診断治療方針を理解習得する。
- ・免疫性神経疾患（重症筋無力症など）の適切な診断治療方針、特に副腎皮質ホルモンの適切な使用方法を理解習得する。
- ・神経変性疾患（アルツハイマー病やパーキンソン病など）の適切な診断治療方針を理解習得する。

#### 【指導原則・方法】

1. 神経内科病棟・救急含む外来（病棟が主体）を担当し、医療スタッフとして診療にあたる。
2. 毎朝入院患者の病状・予定につき報告し、方針を討論する。
3. 指導医の外来に参加し、病歴聴取・生理検査（必要時）を行なう。